



宮下伸悟議員

町長選結果 若手の期待にど う応えるか

若者が住み続けた い、移住したい魅 力ある町に

質問・・・相手候補は僅か1カ月前の立候補表明だったが、結果は7百票弱の僅差。要因をどう考えるか。対話不足に対する町民の不満の表れでは。

町長・・・自分は前回の町長選で1カ月前前に立候補表明し、しかも落下傘候補だったが、1千票差で勝った。このことを考えれば、不思議な結果ではない。1期目は全力を尽くし、対話も時間の許す限りやってきた。対話不足とは思わない。

質問・・・商工会青年部をはじめ、多くの町内若手が支援した。若い世代の期待にどう応えるか。

町長・・・応援してくれた若手の方々は、閉塞感のある富士見町を明るく発展させてほしい、という強い願いが集まってくれた。若者が住み続けたい、一ターンの移住したいと思う政策を打ち出していく。富士見町の潜在的価値を最大限引き出し、魅力ある町づくりを進めていくことで期待に応えたい。

■町のIT政策について

質問・・・町のIT環境の現状は、「IT環境の整備」を公約の一つに掲げたが、中身と行程は。

町長・・・これからの日本はITやサービス産業技術開発による産業振興にシフトしていく。町にとつて大きなチャンスは知識を活かしたITの仕事に従事する人が20%もいること。東京にいる必

要がなく、富士見町に移住しても効率良く業務を行える。そのためには高速ネット回線の整備が必須条件だが、現在の光回線整備状況は3分の2くらい。

質問・・・ソフト面におけるIT環境整備としてオープンデータに取り組む考えは。

町長・・・行政情報は膨大で、コスト等危惧する面もある。今後議論していく中で検討したい。

質問・・・新聞報道された「在宅勤務構想」だが、旧落合小の「テレワークオフィス」に大企業を誘致するだけでなく、起業家などを対象とした「コワーキングスペース」としても活用しては。

町長・・・大企業とベンチャーの両方を想定している。

□その他の質問
*子ども医療費無料化拡充について



佐久祐司議員

財政面で教育に もっと力を入れ るべき

これまで通り力 を入れていく

質問・・・今後4年間の教育の取り組みは。

町長・・・現在、教育の町富士見を十分にPRできる予算措置をとっており、無料塾、エデュカフェ等の実施により教育のレベルは向上している。今後もこの方針を堅持していく。

質問・・・第4次総合計画の教育・子育て部門の実施状況は。

町長・・・学力のみならず心身ともに健やかに成長するよう、豊かな自然を活用し、メンタル面での

ケアを行う配慮をしている。

質問・・・第4次総合計画の教育・子育て部門の予算額は、この3年間で減少しているが。

町長・・・生徒一人当たりの予算額は、減っていないと思われる。

質問・・・目的別歳出の教育の構成比は、類似団体14%に対し富士見町の8%は低いのではないか。

町長・・・教育に対する投資額は構成比ではなく、生徒一人当たりで考える方が望ましい。現在小学校は一人当たり20万9000円で、諏訪6市町村で二位。中学校は一人当たり19万1000円で僅差で2位と高い水準。

質問・・・県内の人口一人当たり対する教育費は、富士見町が77団体中54位、岡谷60位、下諏訪75位、諏訪76位と諏訪6市町村の教育にける予算は高い方ではない。もっと上を目指すべきではないか。

町長・・・富士見町は少子高齢化が進んでいる。人口一人当たりではなく、生徒一人当たりの金額で考えるべき。

いか。

町長・・・目的別歳出の構成比の商工費は、類似団体24%に比べ富士見町は9.6%と高い。教育予算が商工費の犠牲になっていると言えないか。

町長・・・7年後にパノラマの借金返済が終われば、商工費は改善される。

質問・・・教育の町推進事業のNLT(外国人)による英語指導にもっと力を入れるべきではないか。

町長・・・他に負けないようにしっかりとやっていく。

質問・・・リーディングプロジェクトに教育を加えるべきではないか。

町長・・・リーディングプロジェクトに加えて、教育に力を入れていくことをアピールすることは必要だと思っている。